

事務局だより 第12回

みえの農村風景 写真コンテスト受賞作品

最優秀賞

山本幸平さん、2年連続の最優秀賞受賞となりました。はさかけ作業の後、ほっと一息ついた時の表情でしょうか。農作業の中で、自然とこぼれた笑顔が非常に印象的な1枚です。



「笑顔」(玉城町)山本幸平

優秀賞

伊藤孝司さんも2年連続の優秀賞。芋ほりの後の記念写真でしょうか。とれたてのサツマイモを片手に「はい、チーズ!」。皆で力を合わせてたくさんのサツマイモがとれましたね。



「たくさんとれたよ〜!」(四日市市)伊藤孝司



「深野棚田まつり2015」(松阪市)橋本英幸

松阪市飯南町、深野の棚田で行われたまつりの風景。夕闇せまる棚田に、一面に並べられた灯籠が幻想的な雰囲気醸しています。このような光景の撮影は難しいですが、美しい仕上がりになっています。

みえの農村にスポットをあてた写真を募集して、農業・農村に対する関心を高めていただき、さらに広報冊子、その他の広報資料にこの写真を活用する事を目的とした写真コンテストを実施した。

81点の力作が寄せられ、平成28年2月12日に5名の審査委員により厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞4点、伊勢新聞社賞1点が選ばれた。

特別賞

「生き物調査隊」(明和町)松本征夫

日本の湿地百選にも選ばれ、希少な生き物たちが多く棲む祇川。その川の生き物調査をしているところを写した1コマです。構図は非常にいいですが、下を向いている子どもたちが多いのが惜しいところ。



「稲刈の日」(津市)澤田静子

稲刈り体験をした子どもたちを写した写真。生き生きとした表情から楽しさが伝わってくるのですが、真ん中に写っている稲束が大きかったのか、その後ろの子どもたちが隠れてしまったのが残念。



「農道を行く斎王群行」(伊賀市)藤高文男

平安時代に伊勢神宮に仕えるために派遣された斎王の姿で農道を行く姿です。稲刈りの終わった少さびしい田んぼに、艶やかな斎王群行が鮮やかに浮かび上がる、おもしろい光景を写した1枚です。



「田植の準備」(熊野市)白藤一己

熊野市丸山千枚田の田植作業直前の1コマ。全国各地から集まった棚田オーナーたちが、これから1つ1つ手作りで田植えをするところでしょう。テレビカメラマンや写真家など様々な人が集う、春の1大イベントです。



伊勢新聞社賞

子どもたちが芋ほりをしている、秋の1コマを写し取った写真です。自分の顔よりも大きいサツマイモを一生懸命運ぼうとする、けなげな表情が愛らしいです。たくさんとれたかな?



「ボクの顔より大きいヅ」(鈴鹿市)岡田邦宏